

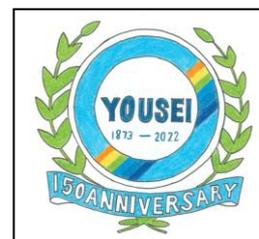


2学期が始まって1週間あまりがたちました。新型コロナウイルスの高い感染レベルが継続しており、引き続き感染症拡大防止対策を講じながら、子ども達の日々の学びを深めてまいります。さて、夏休みが終わり学校の生活リズムを取り戻して、すべての子ども達がタブレット端末を用いた学習を進めています。本校では、児童一人一人の学びを充実させるため、タブレット端末の効果的な活用を目指しています。そこで、「ようせいICT通信」を通して、学級や学校全体の取組の様子等をお知らせします。不定期ではありますが、これからの教育の形をご理解いただくとともに、子ども達の活動の様子が少しでも伝われば幸いです。



ロイロで150周年ロゴマーク投票（全校）

本校は、本年度開校150周年を迎えます。保護者の方々の協力も得て、そのロゴマークを全校児童の投票によって決定しました。ロイロノートを活用することで、全校児童の投票結果を瞬時に集計することができます。夏休み前に体育館で大型モニタを使い、集計した結果を大々的に披露しました。子ども達は、ドキドキしながら発表を見守り、大きな歓声と拍手につつまれました。



↑ (決定したロゴマーク)

算数で反転学習（5年生）

5年生算数の知識を理解する学習では、“反転授業”を行っています。“反転授業”とは、まず自宅学習を行って基礎的な知識を吸収します。学校の授業では、自宅学習で得た知識を用いて応用問題を解いたり自宅学習で分からなかったところを質問したりする場となります。



↑ (自作動画)

まず、家庭で教科担任の自作学習動画をiPadで見て学習します。基本的な知識を吸収した上で、学んだことをロイロノートで先生に送ります。教科担任の先生は、児童の学習状況を把握した上でその日の授業を考えています。一人一人が問題に挑戦した後、グループで交流します。学んだことを論理的に仲間に説明することで、学習内容のさらなる定着をはかります。子ども達は、仲間の説明を聞いてさらに理解を深めています。反転授業をすることで、より多くの問題に取り組むこともできています。また、解説動画を配信することで「動画だと分からないところを何回も繰り返し見ることができるので、よくわかった。」と話す子どももいます。



↑ (グループ交流の様子)

※タブレットの使用に関して何か困りごとがありましたら学校へ連絡をお願いします。